

## 回 答 書

2026年3月18日  
日本貨物鉄道株式会社

「JR貨物グループ長期ビジョン2030」及び「JR貨物グループ中期経営計画2026」の実現に向け、昼夜を問わず業務に尽力されている社員の皆さんに心から感謝申し上げます。

2025年度第3四半期決算においては鉄道事業でエコ関連物資や自動車部品輸送の増加、トラックドライバー不足に伴う鉄道シフトによる積合せ貨物の増加が見られました。また、関連事業では社宅跡地の土地持分譲渡等があったことにより全事業営業収益は増収となりました。車両修繕費や線路使用料等の営業費用は増加したものの、経常利益は前期比1億円の増益となりました。これは社員の皆さんが安全の確保を最優先に、高い使命感を持って業務に取り組んでこられた成果です。

一方で、頻発する自然災害や物価高騰による個人消費の回復の遅れのため運輸収入が伸び悩み、厳しい経営状況にあります。当社グループが物流業界において“なくてはならない存在”となるためには、さらなる輸送量の拡大や生産性向上を図る必要があります。そのためには、社員の皆さんの力が必要であり、その努力の積み重ねが当社グループの発展、ひいては社員の皆さんの待遇改善に繋がっていきます。

足元の経営は厳しい状況にありますが、今後の当社グループの発展、また、2026年度事業計画達成に向け社員の皆さんが奮起することを期待し、以下の通り回答します。

### 1. 新賃金

定期昇給を実施すると共に、2026年7月1日現在（昇給前）の基本給に「4,100円」のベースアップを実施する。

### 2. 実施日

2026年7月1日とする。